



刈谷豊田総合病院 研修医だより



No.15 (2026.1)



安藤 雅樹
臨床研修副センター長
救命救急センター長
救急・集中治療部部長

医学生の皆さんへ

Message

当院の臨床研修プログラムに興味を持っていただき、ありがとうございます。皆さんの期待に応えられるプログラム、教育体制を準備していますので、ぜひ当院で医師としての第一歩をスタートしてみませんか。当院の臨床研修プログラムの柱の一つとして救急研修があります。質・量ともに様々な症例を経験することができ、皆さんのがこの文章を読んでいる今まさにこの時間も、研修医は初療チームの一員として活躍しています。百聞は一見に如かずですので、実際に見学に来ていただき、ERでの研修医の活躍を目の当たりにしてください。あなたがその一員になることを、私たちは心待ちにしています。

研修・イベント風景（10月・11月・12月）

研修風景



振り返りミーティング

下期になり、これまでの研修の振り返りや、次年度の研修・進路について考える時期となりました。

2年生は理想の医師像を、1年生はインシデント・アクシデントをテーマに、振り返りミーティングを行いました。研修医からは、「お互いの経験や思いを共有する良い機会になった」との感想が聞かれました。

1年生は進路を見据え、次年度のローテについて考え始めています。当院では、ローテを決める前に指導医へ相談できる機会を設けており、選択科や志望科を回る時期など、指導医にアドバイスをもらいながら決めていきます。

病院説明会



放射線読影研修体験



ダヴィンチ操作体験



外国人講師によるPBL



研修医・専攻医との昼食会

12月に開催した病院説明会では、多くの医学生の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。

今回、院内施設見学の新たな試みとして、ダヴィンチ操作体験を行いました。研修医・専攻医との昼食会や外国人講師によるPBLでは「楽しかった」「非常に勉強になった」とのご意見をいただき、大変嬉しく思います。

病院説明会は、次年度も6・7・12月に開催を予定しています。

皆さんにとって必要な情報や体験の機会を提供できるような企画を準備してまいります。

Event

診療科紹介 今回は… 小児科

特徴 乳児健診や予防接種、3次緊急医療まで、小児のプライマリーケアを学びます。研修医が一番困る救急外来での対応（診察・治療方針・入院適応）について、判断できるようになるまで指導を受けることで、広い視野で子どもを診ることができるようにになります。また、当院は地域周産期母子医療センターであり、リスクがある新生児の出生から退院まで治療に携わることができます。

研修内容 4週間のローテーション期間中に、小児の血液検査や点滴確保、尿検査、機会があれば髄液検査など、各種検査の手技を学びます。また、幅広い小児疾患の一つ一つを丁寧に診察し、主治医グループとして治療や検査の指示を出せるよう、基本的臨床能力を習得できるよう取り組みます。新生児にも興味がある研修医は、新生児集中治療室（NICU）での新生児の採血や末梢点滴の手技も学びます。

メッセージ 率先して何を学びたいか教えてもらえば、該当カリキュラム（救急・アレルギー・循環器・内分泌・神経・新生児など）を作りますので、より充実した小児科研修になると思います。小児科スタッフ一同お待ちしております。



Announcement

公式Instagramより情報発信中！

研修医の研修風景や日常などの情報を発信しています！
フォローをよろしくお願いします。



KARIYATOYOTA_HOSPITAL_RESI

次回発行予定
3月



イベント情報

今後の外部採用イベントには、以下の会場に出展予定です。

- ・2月22日（日）レジナビ名古屋
- ・3月15日（日）レジナビ東京
- ・4月19日（日）マイナビ大阪
- ・5月17日（日）マイナビ名古屋

指導医・研修医一同、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。ぜひ当院ブースへお越しください！

- ・臨床研修に関する質問
- ・本紙に掲載を希望される内容 等々
お気軽にお問い合わせください。

E-mail : KTGH.kenshu@toyota-kai.or.jp
TEL : 0566-25-8345 (平日8:30~16:45)

見学情報

病院見学 随時受付中！
WEB見学もお気軽にご相談ください。



各種詳細は、当院HPをご確認ください。
★以下URLまたはQRコードからもご覧いただけます。
<https://www.toyota-kai.or.jp/facility/learning/>